

〈抛り所はどこに？〉

詩篇 33 : 13 ~ 21

この宮のこれから後の栄光は、先のものよりまさろう

ハガイ 2 : 9

ビジョンを与えられる主は、自分がこの世を去った後も、次の人を用いて生きて働かされるお方。

主の前では、どんな知恵も英知もはかりごと、役に立たない。馬は戦いの日のために備えられる。

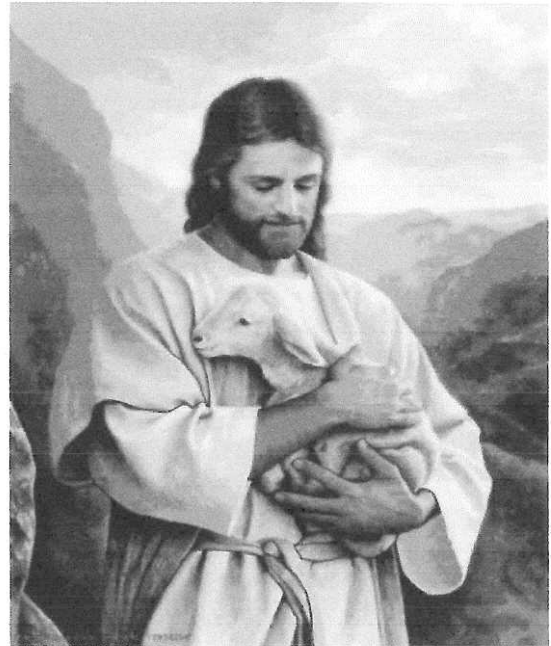
しかし救いは主による。 箴言 21 : 30、31

馬は戦いの道具。人間や国家の力の象徴となり、人々は剣術、馬術を磨くことを惜しまなかった。それこそが何よりも重要で価値ある事だった。

Q 今、自分にとって「馬」に匹敵するような

生きる上で必要不可欠としている、抛り所は何だろうか？

社会的地位？ 経済力？ 人に認めてもらえる何か？ SNS ? etc



助けを求めてエジプトに下る者たち。彼らは馬にたより多数の戦車と、非常に強い騎兵隊とにより頼み、イスラエルの聖なる方に目を向けず主を求めない。 イザヤ 31 : 1

どの時代にも聖書が常に語ることばは・・・ 主をおそれよ！

見よ。主の目は主を恐れる者に注がれる。その恵みを待ち望む者に。【18節】

では、ただ祈っていればいいのか・・・ No !

しかし馬は戦いの日に備えられている

いつでも出陣の時が来たらすぐに戦いに出られる準備を欠かさない。
これが、私たち、人の側で果たすこと。

◆主の手に私たち自身が握られる時にこそ、自分の経験や能力が
大きな力を発揮する。

あるものはいさ車を誇り、あるものは馬を誇る。

しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。 詩篇 20 : 7